

はじめに

修学旅行の楽しみはどんなことだと思いますか。行ったことも見たこともない場所をおとずれる楽しみ、友達と過ごす楽しみ、おいしいものを食べる楽しみなど、たくさんの魅力があります。

修学旅行では、自由行動の時間があることでしょ。東京を自由に見学できる時間です。どこを見学するか、あなたが決めることができます。歴史好きなら、皇居や歴史博物館を見学したい、政治に興味があるなら、国会議事堂や東京都庁、最高裁判所を、お金に関心のある人は日本銀行をおとずれたいと思うことでしょ。また、見学したい場所がどこにあるのか、どの交通手段を利用すれば効率的に移動できるのかなど、考えることはたくさんあります。

この本は、みなさんが旅の計画を立てる際に役立つように、テーマ別のコースを示しています。大きな地図を載せ、見学先がどこに位置するのもひと目でわかります。交通手段や移動時間も表しています。おすすめスポットもたくさん紹介しています。自由行動の計画を立てることは旅の楽しみの大きな部分を占めます。この本を活用して、あなたならではの楽しい修学旅行を計画してください。

うえくさくえんだいがく うめざわしんいち
植草学園大学 梅澤真一

もくじ

東京ってどんなところ？	4
東京の歩き方	6
コース1 江戸から東京へ。歴史を感じる旅	8
コース2 日本の首都 東京の役割を知る旅	12
コース3 お金のしくみを学ぶ旅	16
コース4 文学の世界にふれる旅	20
コース5 科学のふしぎを体験する旅	24
コース6 自然を守る大切さを考える旅	28
コース7 世界の美術・日本の美術に出会う旅	32
コース8 伝統工芸もサブカルも。文化にふれる旅	36

この本の使い方

この本では8通りのモデルコースを紹介しています。興味関心に合わせて、スポットを組み合わせ、オリジナルコースをつくるのもよいでしょう。料金や時間は変更になる場合があるので、事前に確認していきましょう。

コースを「文系」「理系」「技能教科」に分類し、示しています。

スポット間の移動時間と移動方法を示しています。

コースでめぐるスポットを地図で示しています。

それぞれのコースのテーマです。



各スポットの公式サイト、公式SNSのQRコードを入れています。QRコードはスマートフォンやタブレットのカメラで読み取ることができます。スポットの事情により、省略している場合もあります（また、システムなどのやむを得ない事情により、予告なく変更または公開が中止・終了される場合があります）。
* QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

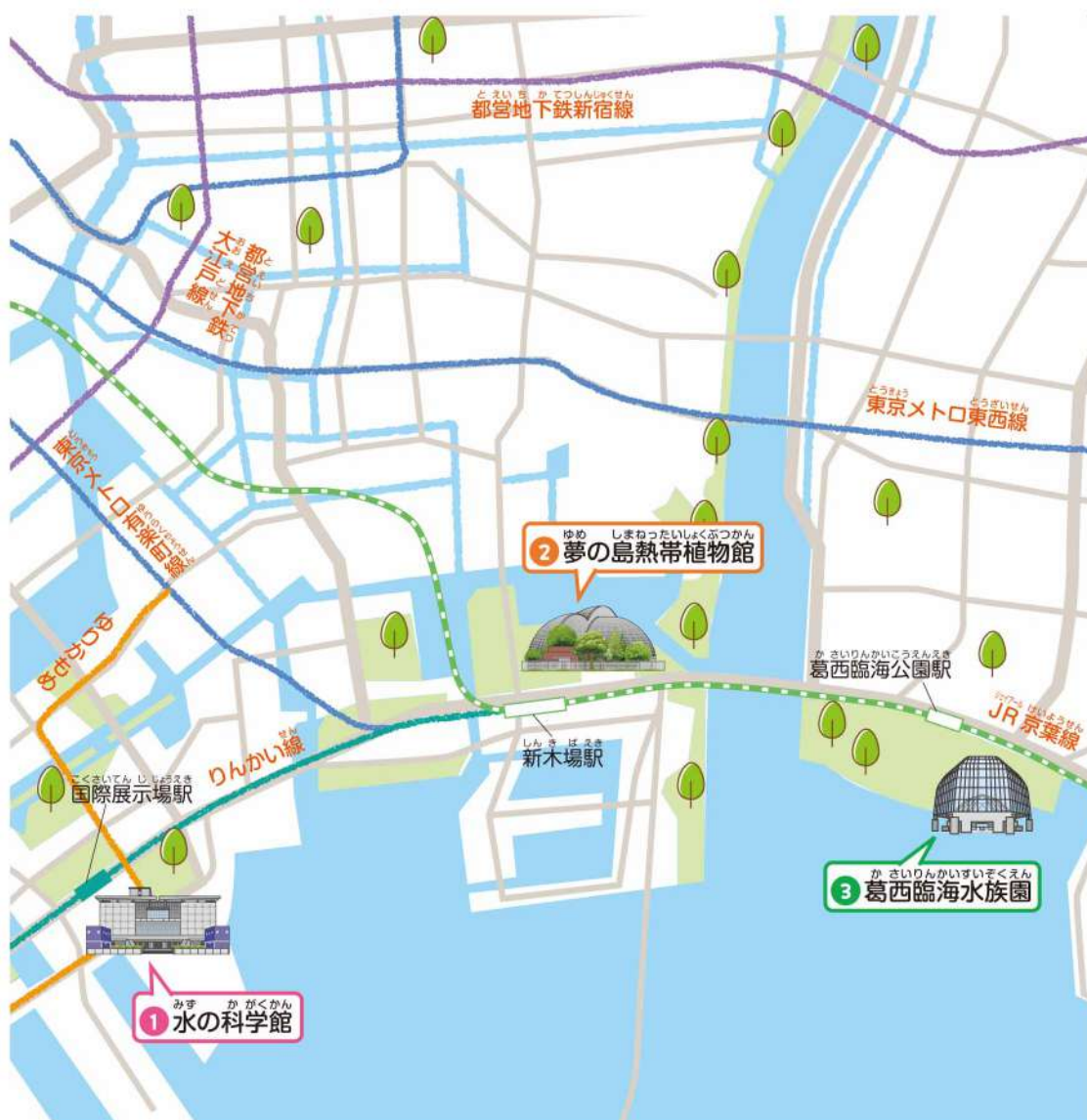
ゆかりの人物や用語を解説しています。

住所・電話番号、参拝・見学できる時間、料金、各スポットまでの行き方の例を掲載しています。

* 受付時間やお守りなど授与品の窓口の開所時間については、事前に確認してください。
* 見学の内容によって、ここに記載されている以外の料金がかかることもあります。
* 各コースの最後には、コース以外のおすすめスポットを紹介する「ほかにもまだまだおすすめスポット」のコーナーがあります。

自然を守る大切さを考える旅

たくさんの人が暮らす東京は、さまざまな環境問題をかかえる都市でもあります。未来のために環境に配慮したまちづくりをめざす東京の取り組みについて学びましょう。



東京都水の科学館



水のふるさととは、どんなところ？

私たちが毎日あたりまえのように使う水。けれども、水道から流れる水はどこで生まれたのでしょうか。東京都水の科学館は、水源の自然や水道水が届くまでのしくみなどについて、科学の視点から学ぶことができる施設です。

館内は3階から見学するようになっていて、水の旅を体験する「アクア・トリップ」、東京の水のふるさとを再現した奥多摩の森を探検する「アクア・フォレスト」、クイズに答えながら暮らしの中の水について学べる「アクア・タウン」など、楽しい体験型展示がたくさんあります。



奥多摩の水源地の森をモデルにした「アクア・フォレスト」。足あとや食事のあとを手がかりに、森にすむ生き物たちをさがしてみよう。大きな木の洞に入るとびっくり！ 何があるかは、実際に行ってみよう。

「水のつぶ」になって旅に出よう

「アクア・トリップ」は水の旅を体感できる展示です。水源の森で生まれた水は、川を下り、ダムや浄水場を通り、水道の蛇口から流れ、海にもどって蒸発して雲になり、やがて雨となって地上に降り注ぎます。そんな水の循環の映像が、前方・左右・天井の4面に映し出されます。大迫力の映像にかこまれると、まるで自分が「水のつぶ」になって旅をしているように感じられるかもしれません。



「アクア・トリップ」は上映時間と定員が決まっているので、来館したら、最初に上映時間をチェックしておこう。

●住所：江東区有明3-1-8 ●電話：03-3528-2366 ●時間：9:30～17:00 ●りんかい線「国際展示場」から：徒歩10分

写真提供：東京都水の科学館

夢の島熱帯植物館



温室は清掃工場の余熱を利用

夢の島熱帯植物館がある江東区の夢の島は、高度経済成長期の1957（昭和32）年に東京のごみの埋め立て処分場として使われはじめました。その後、生ごみからの悪臭やハエの大量発生などによる深刻な被害が発生したことから、夢の島は埋め立て地としての役割を終え、江東区には清掃工場がつけられました。夢の島熱帯植物館は、この清掃工場でごみを処理する際に発生する余熱を利用した温室で熱帯の植物を展示しています。入り口正面の大温室はA・B・Cの3つのドームからなり、世界の熱帯地域や日本の小笠原諸島の植物を見ることができます。



大温室Cドームにあるシクンシの花。夜は白く、昼は赤くなる。

- 住所：江東区夢の島2-1-2 ●電話：03-3522-0281
- 時間：9:30～17:00
- 料金：高校生250円、東京都外の中学生は100円
- 東京都水の科学館から：りんかい線「国際展示場」→「新木場」

葛西臨海水族園



海や水辺の生き物を観察

葛西臨海水族園は「海と人間との交流の場」になることをめざして1989（平成元）年に開園した水族園で、世界各地の海や水辺の生き物を500種以上も展示しています。園内最大の水槽ではアカシュモクザメが泳ぎ、クロマグロの群れも見ることができます。また、ペンギンの展示場では陸上と水中で過ごすペンギンを観察することができます。



水中を泳ぐフンボルトペンギン。ほかにも、ミナミイワトビペンギンやフェアリーペンギン、オウサマペンギンが飼育されている。

写真提供：
葛西臨海水族園

- 住所：江戸川区臨海町6-2-3 ●電話：03-3869-5152
- 料金：高校生700円、中学生250円 ※小学生以下と東京都内に在住・在学の中学生は無料
- 時間：9:30～17:00 ●夢の島熱帯植物館から：JR「新木場」→「葛西臨海公園」

ほかにもまだまだおすすめスポット

★上野動物園



上野動物園は、明治時代の1882年に開園した日本初の動物園です。園内には、ゴリラやトラ、ゾウ、キリン、ホッキョクグマなど、世界中のさまざまな地域で生きる約300種の生き物が飼育されています。また、動物園では生き物が絶滅しないように守る活動もしています。



上野動物園のホッキョクグマ。犬かきのように前足を動かして泳ぐ。

- 住所：台東区上野公園9-83 ●電話：03-3828-5171
- 料金：高校生600円、中学生200円
- ※小学生以下と東京都内に在住・在学の中学生は無料
- 時間：9:30～17:00

★水素情報館 東京スイソミル



東京スイソミルは、水素エネルギーについて学ぶことができる施設です。水素はエネルギーとして使うときに二酸化炭素を出しません。そのため、地球温暖化の原因の1つとされる温室効果ガスをへらす効果があると期待されています。東京スイソミルでは、水素エネルギーを使って電気をつくるしくみの体験や、水素エネルギーを使った未来の社会について知ることができます。



水素製造模型。水が水素と酸素に分解されるしくみを見ることができる。

写真提供：水素情報館 東京スイソミル

- 住所：江東区潮見1-3-2 ●電話：03-6666-6761
- 時間：9:00～17:00
- ※駐車場がせまいため、バスの停車はできない。

★がすてなーに ガスの科学館



がすてなーに ガスの科学館は、私たちが毎日の生活で使うエネルギーについて考える施設です。ガスと暮らしのかかわりや、地球の環境を守るために必要なことを体験しながら学ぶことができます。

- 住所：江東区豊洲6-1-1
- 電話：03-3534-1111
- 時間：9:30～17:00